



森 章



西澤啓太

生物多様性の社会・経済との関わりを議論し、ネイチャーポジティブ（自然再興）実現を促進する

生物多様性と自然資本に関する特別研究会 RC-115

代表幹事

森 章（東京大学 先端科学技術研究センター 教授）

幹事

西澤啓太（東京大学 先端科学技術研究センター 助教）

鈴木紅葉（東京大学 先端科学技術研究センター 特任研究員）

連絡先

横字史年（事務局）

Tel : 03-5452-5337

e-mail : morilab-shoureikai-group
@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

主旨

【特別研究会の目的】

- 1.生物多様性が社会や経済とどのように関わるのかについて学び議論する場を設ける。
- 2.エビデンスに基づくネイチャーポジティブの実現を支援する。
- 3.気候変動と並び、生物多様性の主流化をはかる。

【特別研究会のテーマ】

生物多様性・経済と社会・自然資本・気候変動・ネイチャーポジティブ・TNFD・グリーンカーボン/ブルーカーボン

【特別研究会の設置について】

自然からの人間社会への恩恵は、「生態系サービス」として知られています。ただそこに自然があれば良いわけではなく、生物多様性の高いシステムほど、生態系サービスが高まることが知られています。例えば、炭素吸収においては、樹種多様性に富む森林ほど樹木の一次生産を介した炭素吸収が高まり、結果として気候変動緩和に繋がることが定量的に示されています。

そして近年、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）が設立され、企業・団体は自身の経済活動による自然環境や生物多様性への影響を評価し、情報開示する枠組みの構築が急務となっています。企業・団体に自然資本と生物多様性に関連する財務情報の分析・開示を推奨するに至った背景には、生物多様性の劣化に対する危機感があります。

生物多様性の損失は自然資本の劣化に直結し、めぐりめぐって経済活動の低下につながります。そしてそれは人類存続の基盤を脅かす事態にまで発展しかねません。

また、ネイチャーポジティブ（自然再興）とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させるという目標です。G7サミットでも、「G7 2030年 自然協約（G7 2030 Nature Compact）」で合意されています。

本特別研究会においては、上記の分野の専門であり、『生物多様性が生態系サービスを支える』という現象の背景にあるメカニズムを研究している森章研究室の知見を生かし、一連の知見を実社会に実装することで、気候変動をはじめとする多くの社会環境問題に、生物多様性が解決の糸口となることを示します。また、森章研究室の知見の共有のみならず、専門家ゲストを招聘した講演会や、皆様の課題を共有していただき意見交換を行うディスカッション、そして相互交流を育む懇談会を開催します。

本特別研究会は、ネイチャーポジティブ実現に関心をお持ちのありとあらゆる皆様のご参加をお待ちしています。

年会費：賛助員の場合：40万円（1社1名から4名まで）
（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

参加費：非賛助員の場合：50万円
1社5名から10万円/1名
1社あたりの参加人数上限はありません。

定員：参加社数制限なし

運営方法：特別研究会を年に3～4回程度
（実施内容例：講演会・参加企業も交えたディスカッション・懇談会）

特別研究会申込方法

下記連絡先まで電子メールでお申し込みください。

連絡先：一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内Dw405
TEL：03(5452)6095
e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp



●HPアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_2024.html

●特別研究会会員規則：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/ResearchCommitte/RC_gazou/rc2024/RC-kaiin-ki.pdf

2024年度 特別研究会申込書

特別研究会会員規則に同意の上、お申し込みください。

申込日：_____年____月____日

いずれかに○をつけてください。

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

(2) 貴社名 :

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏名 :

■所属 :

■役職 :

■勤務先所在地 : 〒

■電話番号 :

■Fax :

■E-mailアドレス :

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。→ _____ 口に増口（1口につき賛助員年会費10万円）

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。→ _____ 口に新規申込み（1口につき賛助員年会費10万円）

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。